

平成 22 年度

財 務 情 報

① 財産目録

② 貸借対照表

③ 収支計算書

資金収支計算書

資金収支内訳表

消費収支計算書

消費収支内訳表

④ 事業報告書

⑤ 監査報告書

学校
法人 頌 栄 保 育 学 院

財 産 目 録

1 資産総額		3,352,221,508 円
内 基本財産		2,697,592,934 円
運用財産		654,628,574 円
2 負債総額		418,255,169 円
3 正味財産		2,933,966,339 円

科 目	2010年度末
一 資産額	
(一)基本財産	
1 土地	1,370,406,692 円
2 建物	1,038,228,855 円
3 構築物	14,052,601 円
4 図書	217,244,674 円
5 教育研究用機器備品	29,100,143 円
6 その他の機器備品	4,386,962 円
7 車両	1,000 円
8 電話加入権	698,316 円
9 出資金	3,287,691 円
10 長期貸付金	20,186,000 円
(二)運用財産	
1 現金預金	401,611,302 円
2 特定定期預金	84,499,031 円
3 施設引当定期預金	151,851,541 円
4 有価証券	25,000 円
5 未収入金	5,306,000 円
6 前払金	3,199,700 円
7 短期貸付金	8,136,000 円
合 計	3,352,221,508 円
二 負債額	
1 固定負債	238,800,484 円
(1)長期借入金	58,480,000 円
日本私立学校振興・共済事業団	58,480,000 円
(2)退職給与引当金	180,320,484 円
2 流動負債	179,454,685 円
(1)短期借入金	6,960,000 円
(2)未払金	7,478,481 円
(3)前受金	159,451,000 円
(4)預り金	5,565,204 円
合 計	418,255,169 円
三 正味財産(資産総額－負債総額)	
合 計	2,933,966,339 円
注記：土地及び建物内訳	
土 地	29,936.29 m ²
内 造成地	14,097.60 m ²
未造成地	15,838.69 m ²
建 物	8,539.12 m ²
内 短大A棟	1,208.55 m ²
短大B棟	2,023.54 m ²
短大C棟	390.19 m ²
幼稚園棟	918.23 m ²
学生ホール	99.97 m ²
体育館	2,080.54 m ²
講 堂	497.98 m ²
専門学校	1320.12 m ²

貸借対照表

平成23年 3月31日

<総括表>

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	2,933,968,506	2,966,445,068	△ 32,476,562
有形固定資産	2,673,420,927	2,706,603,068	△ 33,182,141
その他の固定資産	260,547,579	259,842,000	705,579
流動資産	418,253,002	411,050,862	7,202,140
資 産 の 部 合 計	3,352,221,508	3,377,495,930	△ 25,274,422
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	238,800,484	247,438,850	△ 8,638,366
流動負債	179,454,685	200,911,544	△ 21,456,859
負 債 の 部 合 計	418,255,169	448,350,394	△ 30,095,225
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	3,660,141,342	3,639,449,582	20,691,760
第4号基本金	40,000,000	40,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	3,700,141,342	3,679,449,582	20,691,760
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	766,175,003	750,304,046	15,870,957
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 766,175,003	△ 750,304,046	△ 15,870,957
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	3,352,221,508	3,377,495,930	△ 25,274,422

資金収支計算書

平成22年 4月 1日 から

平成23年 3月31日 まで

<総括表>

(単位 円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	381,602,050	381,602,050	0
手数料収入	6,950,000	7,066,500	△ 116,500
寄付金収入	4,650,000	7,982,895	△ 3,332,895
補助金収入	72,560,000	69,558,404	3,001,596
国庫補助金収入	48,510,000	46,048,000	2,462,000
地方公共団体補助金収入	24,050,000	23,510,404	539,596
資産運用収入	1,308,085	1,226,557	81,528
事業収入	7,350,400	7,622,000	△ 271,600
雑収入	6,692,500	6,702,782	△ 10,282
前受金収入	153,475,000	159,451,000	△ 5,976,000
その他の収入	49,403,700	49,078,700	325,000
資金収入調整勘定	△ 142,899,690	△ 142,999,690	100,000
前年度繰越支払資金	358,516,902	358,516,902	
収入の部合計	899,608,947	905,808,100	△ 6,199,153
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	311,982,000	306,847,163	5,134,837
教育研究経費支出	77,190,000	71,248,521	5,941,479
管理経費支出	48,385,000	44,962,877	3,422,123
借入金等利息支出	1,902,109	1,902,109	0
借入金等返済支出	18,960,000	18,960,000	0
施設関係支出	14,731,500	14,731,500	0
設備関係支出	7,000,000	5,744,440	1,255,560
資産運用支出	830,415	668,579	161,836
その他の支出	54,230,070	49,748,680	4,481,390
[予備費]	(1,762,235) 5,037,765		5,037,765
資金支出調整勘定	△ 10,040,590	△ 10,617,071	576,481
次年度繰越支払資金	369,400,678	401,611,302	△ 32,210,624
支出の部合計	899,608,947	905,808,100	△ 6,199,153

資金収支内訳表

平成22年 4月 1日 から

平成23年 3月31日 まで

収入の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
学生生徒等納付金収入		338,404,650	43,197,400
手数料収入		6,946,500	120,000
寄付金収入		7,122,895	860,000
補助金収入		46,091,404	23,467,000
国庫補助金収入		46,048,000	0
地方公共団体補助金収入		43,404	23,467,000
資産運用収入		1,164,203	47,434
事業収入		3,861,800	3,760,200
雑収入		4,997,638	1,700,644
計		408,589,090	73,152,678

支出の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
人件費支出		269,009,698	37,837,465
教育研究経費支出		59,202,600	12,045,921
管理経費支出		30,979,855	5,802,973
借入金等利息支出		1,514,900	157,500
借入金等返済支出		6,460,000	500,000
施設関係支出		14,731,500	0
設備関係支出		4,317,740	1,426,700
計		386,216,293	57,770,559

法人名： 頌栄保育学院

消費収支計算書

平成22年 4月 1日 から

平成23年 3月31日 まで

<総括表>

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	381,602,050	381,602,050	0
手数料	6,950,000	7,066,500	△ 116,500
寄付金	4,650,000	9,035,304	△ 4,385,304
補助金	72,560,000	69,558,404	3,001,596
国庫補助金	48,510,000	46,048,000	2,462,000
地方公共団体補助金	24,050,000	23,510,404	539,596
資産運用収入	1,308,085	1,226,557	81,528
事業収入	7,350,400	7,622,000	△ 271,600
雑収入	6,692,500	6,702,782	△ 10,282
帰属収入合計	481,113,035	482,813,597	△ 1,700,562
基本金組入額合計	△ 20,163,411	△ 20,691,760	528,349
消費収入の部合計	460,949,624	462,121,837	△ 1,172,213
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	311,265,760	305,168,797	6,096,963
教育研究経費	117,538,194	111,668,824	5,869,370
管理経費	61,502,946	57,969,409	3,533,537
借入金等利息	1,902,109	1,902,109	0
資産処分差額	1,300,000	1,283,655	16,345
[予備費]	(485,000) 4,315,000		4,315,000
消費支出の部合計	497,824,009	477,992,794	19,831,215
当年度消費支出超過額	36,874,385	15,870,957	
前年度繰越消費支出超過額	750,304,046	750,304,046	
翌年度繰越消費支出超過額	787,178,431	766,175,003	

消費収支内訳表

平成22年 4月 1日 から

平成23年 3月31日 まで

消費収入の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
学生生徒等納付金		338,404,650	43,197,400
手数料		6,946,500	120,000
寄付金		8,075,304	960,000
補助金		46,091,404	23,467,000
国庫補助金		46,048,000	0
地方公共団体補助金		43,404	23,467,000
資産運用収入		1,164,203	47,434
事業収入		3,861,800	3,760,200
雑収入		4,997,638	1,700,644
帰属収入合計		409,541,499	73,252,678
基本金組入額合計	△	8,688,558	△ 574,140
消費収入の部合計		400,852,941	72,678,538

消費支出の部

<総括表> (単位 円)

科目	部門	頌栄短期大学	頌栄幼稚園
人件費		267,331,332	37,837,465
教育研究経費		91,677,517	19,991,307
管理経費		36,532,914	6,568,108
借入金等利息		1,514,900	157,500
資産処分差額		1,131,305	95,256
消費支出の部合計		398,187,968	64,649,636

2010年度 頌栄保育学院事業報告

I 学校法人の概要

①建学の理念・精神・教育目標

神をわれらの主とあがめ、神の子イエス・キリストをわれらの救いとする信仰に立ち、広く神と人にと仕えるとともに、本学の創立者、アニー・L. ハウ先生がもつとも信奉されたフレーベルの教育理念を幼児の保育に生かすことを本学の建学の精神としている。

頌栄短期大学は明治22年10月22日、関西初のプロテスタント教会「摂津第一基督公会（現日本キリスト教団神戸教会）」を中心とした神戸婦人会により設立された。同婦人会は明治19年、キリスト教による風俗改良運動の一環として幼稚園の設立を企て、その指導者をアメリカン・ボード（米国伝道会）に求めた。同会の紹介に応じてアニー・ライオン・ハウ（Annie Lyon Howe）が明治20年来神、明治22年10月、日本最初のキリスト教主義による保母養成機関「頌栄保母伝習所」を開校し、2週間遅れて「頌栄幼稚園」を開園した。幼稚園を開園する前に保育者の養成が必要であり、頌栄保母伝習所の誕生となった。これが頌栄短期大学の前身である。爾来、頌栄保母伝習所、頌栄保育専攻学校、頌栄短期大学と名称を変えて120年の歴史を刻み、キリスト教主義による保育者養成機関として今日に至っている。

本学の独自性・個性は何よりも、キリスト教の精神による教育である。日本近代は外発性のため、開園当時、児童殊に幼児を一個の人格として尊重しようとする思想はなかった。また明治22年には大日本帝国憲法が發布され、富国強兵政策が次第に整えられていく状況下にあった。その中で児童、殊に幼児を一個の人格として尊重するとの思想に基づいての教育は、まさに神戸婦人会の祈りからの出発であることを再確認せねばならない。

A. L. ハウは、フリードリッヒ・フレーベル（1782～1852）によって創設された幼稚園の理念を継承し、幼児の神性・価値・可能性に注目した人間開放の原点を見据えた教育を実践するとの教育思想を受け継ぎ、今日まで幼児教育というただ一事に目標を定め小規模校に留まり続けて教育の実をあげている。

キリスト教の精神に基づいての教育を大切に、創立121年の伝統を重ねた本学院は、10月20日（水）に創立記念の礼拝を守った。（奨励：酒井哲雄院長「果たすべき使命」）2014年には創立125周年を迎える。2009年2月に発足した「頌栄保育学院将来構想プロジェクト委員会」は9回の委員会をもち「保育者養成と継続教育」「情報発信とネットワーク」「財政と経営の課題」「具体的なプロジェクト」など協議をすすめた。2010年12月新しく「経営企画委員会」と「125周年記念プロジェクト委員会」の2つの委員会が理事会で承認され、今後頌栄の理念を含む将来の構想、具体的な創立125周年記念の準備が進められることとなった。

②沿革

明治22年（1889年）10月22日	日本で最初の私学の保母養成校として、頌栄保母伝習所（現頌栄短期大学の前身）創設。
明治22年（1889年）11月4日	頌栄幼稚園を開設。
明治41年（1908年）9月17日	兵庫県から幼稚園保母無試験検定の指定
昭和10年（1935年）6月16日	頌栄保育専攻学校に改組。
昭和17年（1942年）12月	財団法人頌栄保育学院を設立。
昭和25年（1950年）3月14日	頌栄短期大学の設置認可、保育科設置。入学定員60名
昭和26年（1951年）3月5日	財団法人を廃し、学校法人「頌栄保育学院」を設置。
昭和28年（1953年）3月5日	厚生大臣から保母資格試験の科目免除校の指定。
昭和33年（1958年）3月18日	短期大学保育専攻科（修業年限1年）を設置認可。
昭和39年（1964年）3月14日	厚生大臣から保母養成所の認可（児童福祉施行令規程による）。
昭和52年（1977年）	短期大学、幼稚園ともに新校地（神戸市東灘区御影山手1丁目）に移転を決定。
昭和54年（1979年）8月1日	学校法人頌栄保育学院の位置変更の認可 短期大学移転。

昭和 55 年 (1980 年) 幼稚園移転。 短期大学の入学定員 60 名から 100 名に。
 平成 元年 (1989 年) 10 月 創立 100 周年記念式典を挙げる。
 平成 3 年 (1991 年) 3 月 30 日 頌栄人間福祉専門学校開設。
 平成 6 年 (1994 年) 2 月 1 日 頌栄短期大学専攻科 (保育専攻) を学位授与機構が認定。
 平成 12 年 (2000 年) 2 月 15 日 短期大学専攻科 (保育専攻、修業 1 年) を廃し、学位授与機構
 認定の短期大学専攻科 (保育専攻、修業年限 2 年) を設置。
 平成 18 年 (2006 年) 短期大学の入学定員 150 名に。
 平成 21 年 (2009 年) 3 月 31 日 頌栄人間福祉専門学校閉校

③設置学校等

法人名 学校法人 頌栄保育学院 理事長 酒井 哲雄
 所在地 神戸市東灘区御影山手 1 丁目 18 番 1 号
 設置する学校 1. 頌栄短期大学 保育科・専攻科 学長 阿部 恩
 2. 頌栄幼稚園園長 園長 阿部 扶早
 役員・教職員の概要 理事 14 名、 監事 2 名、 評議員 29 名
 教職員数

頌栄短期大学

	計	男	女
教員	15	5	10
職員	12	5	7
計	27	10	17

頌栄幼稚園

	計	男	女
教諭	7	1	6
計	7	1	6

当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況 2010 年 5 月 1 日現在
 頌栄短期大学

保育科

	入学定員	学生数	男	女
保育科 1 年	150	121	6	115
保育科 2 年	150	151	8	143
計	収容定員 300	272	14	258

専攻科

	入学定員	学生数	男	女
専攻科 1 年	20	12	3	9
専攻科 2 年	20	9	2	7
計	収容定員 40	21	5	16

頌栄幼稚園

	定員	園児数	男	女
年少	100	38	18	20
年中		38	18	20
年長		45	26	19
合計	収容定員 100	121	62	59

短期大学卒業生数 2011 年 3 月 保育科 148 名

修了生 専攻科 7 名 1 年次修了 1 名

幼稚園卒園児数 45 名

II 理事会・評議員会の開催と審議内容

理事会（2010年度は4回開催）

第1回 2010年5月27日（金） 定数13 出席13（委任状2）

- （1）役員の構成について
- （2）2009年度決算（案）について
- （3）2010年度第一回補正予算（案）について
- （4）頌栄保育学院将来構想プロジェクトについて
- （5）旧専門学校の校地・校舎の用途について

第2回 2010年9月27日（月） 定数14 出席11（委任状3）

- （1）役員人事について
- （2）頌栄保育学院将来構想プロジェクトについて
- （3）学則変更について
- （4）セクシュアル・ハラスメント等の防止規程について

第3回理事会 2010年12月13日（月） 定数13 出席11（委任状2）

- （1）2010年度上半期の予算執行状況と下半期の執行予定
- （2）125周年に向けてのプロジェクト委員会及び経営戦略委員会（仮称）について
- （3）人事について
 - ①欠員の理事・評議員の選任について
 - ②園長の任期満了に伴う園長の選任について
 - ③教職員人事について
- （4）学則変更について

第4回 2011年3月28日（月） 定数14 出席13

- （1）2010年度補正予算について
- （2）2011年度事業計画と当初予算について
- （3）経営企画委員会及び125周年記念プロジェクト委員会について
- （4）教職員人事について

評議員会

第1回 2010年5月27日（木） 定数28 出席28（委任状8）

- （1）役員の構成について
- （2）2009年度決算（案）について
- （3）2010年度第一回補正予算（案）について
- （4）頌栄保育学院将来構想プロジェクトについて
- （5）旧専門学校の校地・校舎の用途について

第2回 2010年12月13日（月） 定数28 出席28（委任状7）

- （1）2010年度上半期の予算執行状況と下半期の執行予定
- （2）125周年に向けてのプロジェクト委員会及び経営戦略委員会（仮称）について
- （3）欠員の理事・評議員の選任について

第3回 2011年3月28日（月） 定数29 出席27（委任状7）

- （1）2010年度補正予算について
- （2）2011年度事業計画と当初予算について

III 事業概要

短期大学

- 1）保育士養成カリキュラム改訂のため、1年をかけ保育カリキュラム変更に取り組み、課程認定を受けることができた。2011年度は新1年生から新カリキュラムでの授業が行われる。2年生は従来通りのカリキュラムである。
- 2）保育職を希望する学生の就職率は2010年度も100%であった。保育職以外の職種を希望する学生について、今後どう対応できるかが課題となっている。

- 3) 実習辞退・停止になる学生があり、その学生に対するケアが必要となる。養成校が増え、実習先の開拓も課題となっている。
- 4) 様々な状況の中、問題を抱えながら学ぶ学生が増えている。カウンセリング室から学生相談室と名称を変え、学生が相談しやすい環境を整えた。
- 5) 2010 年度入試は定員を下回り、指定校及び評定平均値など 2011 年度入試制度の見直しをおこなった。学校訪問・進学ガイダンスにより高校との関係強化、3 月のオープンキャンパス実施などおこない、2011 年度入試は、保育科の定員を確保することができた。
- 6) ホームページを充実させた。必要な情報を迅速に対応できる体制となっている。情報公開の要望に対しても対応をおこなった。
- 7) 携帯での情報のやりとりは日常のものとなり、思いがけないトラブルに巻き込まれるケースがある。情報のとり扱いに対し、その危険性等学生に注意を喚起する説明会を実施した。
- 8) 学校礼拝を火曜日水曜日の週 2 回全校生で守っている。また 5 月には新入生を対象に春季研修会を「人間の尊厳性」(保育科 1 年)「人は何によって生きるか」(専攻科 1 年)をテーマに 1 泊 2 日にて行った。11 月 20 日・21 日には 2 名の講師を迎え、近隣の牧師の方々にも協力を得、秋季キリスト教研修会をおこなった。学生が自分自身を見つめ、広く生きる意味を考えるよい機会となっている。
- 9) 社会の経済状況が厳しさを増す昨今であるなか、学生の教学面の支援のために頌栄保育学院奨学金を充実運用に努めた。
- 10) 頌栄短期大学では幼稚園教諭二種免許及び保育士資格を取得できる他、希望して講習あるいは試験を経て取得できる資格・認定について取り扱っているが、2010 年度はチャンピonstrakター 13 名、ピアヘルパー 44 名、救命救急士 1 年 121 名が認定された。
- 11) 2009 年度より教育の質向上へ一体的に取り組むことを目的に、ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)、カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針) を検討してきたが、2010 年度に設定、充実させた。
- 12) 私立大学教育高度化推進補助事業を継続して実施した。①豊かな人間性育成を目指す総合演習の充実への取組②ALハウの保育思想および建学の精神の教育③図書館資料の活用を通して保育科学生の保育実践力を高める取組
- 13) 幼稚園教諭 2 種免許を有して経験を積んでいる保育者に、幼児 1 種取得への道を与える免許法認定公開講座を今年度も開講した。また 2009 年度から導入された教員免許 10 年更新制の講習会を開講した。希望者は昨年を上回り定員をオーバーするクラスもあった。受講生免許法 75 名、更新講習 40 名、双方を兼ねての受講 10 名 合計 125 名。
- 14) 県立東灘高校に 2010 年度から「医療・看護・保育」類型のクラスが設置され、1 年生を対象とした保育士に関する特別授業の要請があり。2010 年度年 3 回の授業を頌栄が担当し高大連携をはかった。
- 15) 乳幼児研究所主催のグローリー・オープンカレッジ 5 月 28 日「相談室から見えるもの」前田聖津子講師参加者 22 名、夏季保育セミナー 8 月 20 日「子どものための危険学」原秀夫講師参加者 45 名参加 を開催した。ハウ書簡「ひばりの歌」「靈魂学」の復刻をおこなった。
- 16) 新卒懇談会を 7 月 11 日 (日) と 11 月 14 日 (日) に実施した。7 月におこなった第 1 回懇談会において課題となった事柄を受け、11 月には第 2 回懇談会をおこない、「記録を通して見る子ども理解」一噛み付き・怪我の辞令を中心として一のテーマで開催、頌栄保育園園長及び西鈴蘭台頌栄保育園主任の報告を受けての懇談会をおこなった。
- 17) 前後期末に学生による授業評価を行い。各教員へフィードバックし、授業改革・見直しに繋げている。又専任教員懇談会を年度末に行い、一年の各部・各委員会の総括と新年度に向けて共有して担うべき課題を確認し、学生への対応等を協議し、新年度への準備の時とした。

幼稚園

1) キリスト教保育の充実

キリスト教保育は、塚本潤一宗教主事を迎え、新しい賛美歌 (たまごさんびか) が多く生まれた。花の日・母の日・敬老の日・収穫感謝などの記念礼拝のたび、今度はどんな賛美歌? と楽しみにしながら礼拝を守った。また教員へは毎月一度の「聖書に聴く会」を通し、頌栄幼稚園の保育士台としての「保育のねらい」から具体的な展開方法を学び、身近でかつ方向性を持ちつつ日々の礼拝を行った。

2) 保育内容の充実

- ・「頌栄幼稚園の子どもはやさしいね」「友だちのお世話がよくなるね」「どのように保育されているの」の声をきく。この質問に一言で答えることはできないが、キリスト教保育を基にし、一人ひとりを大切に、伝えあいの保育によって育まれていると考えている。原田碩三先生（兵庫教育大名誉教授）の指導により、教師の都合を優先しない、人間として生きるための基礎能力を「遊び」を重視した保育の中で育てている。
- ・10月30日（土）昨年に引き続き公開保育を行った。公私立幼稚園の教員95名の参加者であった。
- ・特別支援教育は教員が研修会に参加し、保育技術の向上に勤め、支援をおこなった。また保護者と共に教育相談室に行き、具体的な支援を学んだ。

3) 冊子の発行

2010年3月20日にF.フレーベルに学ぶ「幼児のための集団遊び」の冊子を西垣光代前園長のご協力のもとに発行した。頌栄幼稚園に伝わっている集団あそびを、現在の園児に伝えながら楽しんだ。

4) 保護者教育

- ・県民局が主催する親子学級の開催をした。今年のテーマは「家族のきずなを深め、家庭の力を高めよう」であった。講演会（4回）、実技研修会（10回）を通し、親子のふれあい、親同士、地域の異年令・異世代の交流を行った。
- ・地域の幼児教育センター的な機能の一翼を担う園独自の場として、子育てセミナーを開催した。講師として服部祥子先生（精神科医・大阪人間科学大学名誉教授）を迎え、年6回の公開講座を開いた。土曜日であったが、現役幼・保・小・中の教員、現保護者、卒園児保護者、祖母、子育て指導員など平均70名を超える参加者があった。

5) 環境整備

地デジ対応アンテナ工事（県補助金）石臼、保育机、絵画整理棚の備品、設置及び充実。

2011年度入試結果

頌栄短期大学

保育科

志願者	217
内推薦志願者	191
受験者	215
合格者	160
入学手続者	156
収容定員	300
全学生数	278

専攻科

志願者	12
受験者	11
合格者	8
入学手続者	8
推薦C入学者	4
収容定員	40
全学生数	21

頌栄幼稚園

入園志願者	58
合格者	54
入園手続者	53
全園児数	128

IV 財務概要(過去3年間貸借対照表科目等推移)

科 目	平成23年 3月31日	平成22年 3月31日	平成21年 3月31日
固定資産	2,933,968,506	2,966,445,068	2,980,167,927
有形固定資産	2,673,420,927	2,706,603,068	2,724,063,695
その他の固定資産	260,547,579	259,842,000	256,104,232
流動資産	418,253,002	411,050,862	441,074,894
資 産 の 部 合 計	3,352,221,508	3,377,495,930	3,421,242,821

科 目	平成23年 3月31日	平成22年 3月31日	平成21年 3月31日
固定負債	238,800,484	247,438,850	269,374,340
流動負債	179,454,685	200,911,544	254,262,745
負 債 の 部 合 計	418,255,169	448,350,394	523,637,085

科 目	平成23年 3月31日	平成22年 3月31日	平成21年 3月31日
第1号基本金	3,660,141,342	3,639,449,582	3,601,408,852
第4号基本金	40,000,000	40,000,000	40,000,000
基 本 金 の 部 合 計	3,700,141,342	3,679,449,582	3,641,408,852

科 目	平成23年 3月31日	平成22年 3月31日	平成21年 3月31日
翌年度繰越消費支出超過額	766,175,003	750,304,046	743,803,116
消費収支差額の部合計	△ 766,175,003	△ 750,304,046	△ 743,803,116

	平成23年 3月31日	平成22年 3月31日	平成21年 3月31日
正味財産	3,352,221,508	3,377,495,930	2,897,605,736

監査報告書

2011年(平成23年)5月20日

学校法人 頌栄保育学院

理事長 酒井 哲雄 殿

監事

山口



監事

佐川 俊一



2010年(平成22年)4月1日から2011年(平成23年)3月31日までの2010年度(平成22年度)中の職務の執行を監査するため、理事会・評議員会に出席し、理事から業務の説明を受け、監事として必要な監査基準に準拠して監査手続きを実施した。

その結果、会計に関する事項は諸基準通り継続して適用されており、かつ業務については適法に処理しているものと認めた。

よって、当学院の2011年(平成23年)3月31日現在の経営状況は正しく表示しているものと認める。

以上